

# 愛翔・あいちビジネスプロジェクト ～ビジネスの視点で地域課題の解決を目指すカリキュラム開発～

地域産業界等と連携・協働した実践的なビジネス教育を推進するとともに、ビジネスの視点で自ら地域の課題を発見し、課題解決に向けて主体的かつ協働的に取り組むことのできる能力と態度を身に付け、本県産業の発展を担う職業人の育成を目指す。

## 【育成したい生徒像】

地域（愛知県全域）の課題をビジネスの視点で捉え、経営資源を最適に組み合わせ、他者と協働して、地域ビジネスを展開できる人材

## 【令和3年度の目標】

目指すべき人材の育成のため、次の三つのプログラムについて研究開発を引き続き行う。

- ①地域ビジネス理解促進プログラム
- ②ビジネス教育力強化プログラム
- ③愛知版ビジネス連携プログラム

本研究を通して、課題発見能力・課題解決能力、コミュニケーション能力等、ビジネスを展開する上で必要な資質・能力の更なる向上を図る。

## 【令和3年度の取組状況】

本校生徒を対象とした

### 地域ビジネス理解促進プログラム

- ・地域企業講演会の実施（1年）
- ・ビジネスプランの作成（1年）
- ・学校設定科目の実施（2年）
- ・定期的な販売実習の実施（3年）
- ・商品開発（3年）
- ・広告作成（3年）
- ・既存商品改良の取組（3年）
- ・小売店での販売ブース設置（3年）



教員の指導力を強化するための

### ビジネス教育力強化プログラム

- ・地域協働連携推進校の教職員が協力し、補助教材「あいちのビジネス」を作成
- ・各学科（国際ビジネス科、経理科、情報処理科、事務科）における授業改善の取組
- ・新たなICT機器の導入、IoT時代に合わせた授業の展開



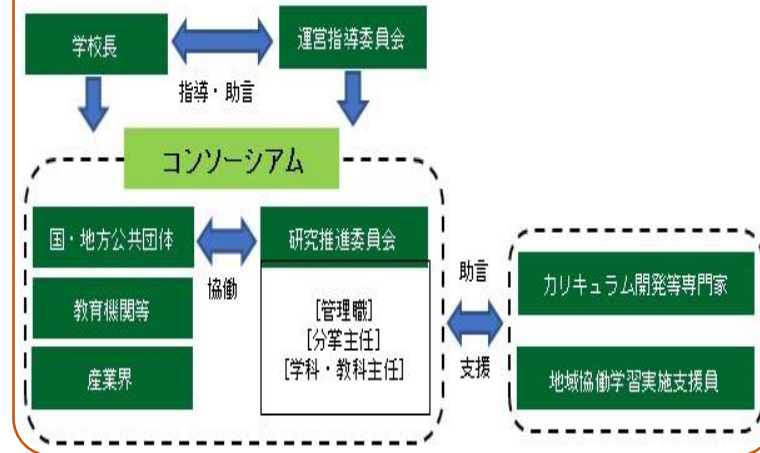
本県の商業の学びをより深いものにするための

### 愛知版ビジネス連携プログラム

- ・連携協定締結による地域企業協働バンクの拡大
- ・県教育委員会主催「地域協働ビジネススキルアップ事業」を活用した実践的・体験的なビジネスプログラムの企画・実践



## 【実施体制】



## 【成果】

- ・地域企業講演会やビジネスプランの作成等を通して、地域の課題に対する気づき、生徒の地域ビジネスへの関心、課題発見能力やコミュニケーション能力を向上させることができた。
- ・経理、広告、販売促進方法など、各学科の学びを通して生徒のビジネスの創造力を高めることができた。
- ・県内の商業高校生が地域企業の協力のもと、商品開発や販売活動等を行うプログラムを実践することで小売業が実際に行う一連のマーケティング活動を総合的・体験的に学ぶことができた。
- ・アクティブ・ラーニングの教材開発と実施を通して、教職員の指導力向上、適切な評価方法の研究と共通理解を深めることができた。

## 【課題】

- ・地域と学校をつなぐコーディネーターの継続的な支援が得られる体制を構築する。
- ・地域ビジネスの考察を目的に作成した補助教材「あいちのビジネス」の効果的な活用方法を検討する。